

グリーン四国

四国森林管理局

高知市丸ノ内1丁目3-30

TEL 088-821-2052

FAX 088-821-4834

ホームページアドレス <http://www.rinya.maff.go.jp/shikoku/>
電子メール shikoku_soumu@rinya.maff.go.jp



No.1139 2015年2月号

平成26年度四国森林・林業研究発表会を開催

1月22日、第62回を迎えた今年度の研究発表会は、局署等のほか、教育機関、各研究機関等から、18課題（特別発表を含む）が発表されました。
【詳細は2頁】



高知県立四万十高等学校の発表の様子

四国森林・林業研究発表会を開催

〈技術普及課〉



一月二二日、四国森林管理局大会議室において、「平成二六年度四国森林・林業研究発表会」を開催しました。

まず、浅川局長から、「発表される課題は、森林整備、木材利用を初め、治山、林産物、獣害対策、森林環境教育など多くの今日的課題についての研究成果であり大変有意義な内容です。発表される課題が、これから森林づくりなどに反映されることを期待します。」と挨拶がありました。六二回目を迎えた今年度

の研究発表会は、局署等の

ほか、教育機関、各研究機関等から、かかり木の安全対策や自然保護、ニホンジ

カによる食害対策など一八課題（特別発表を含む）が

発表されました。また、高

知県立高知工業高等学校、高知県立四万十高等学校か

ら、学習活動の一環として取り組んでいる内容について発表があり、会場から多くの拍手が送られました。

特に、今回の特徴として、発表の内容は勿論のこと、パワーポイントに、動画を挿入するなど聴講者に

分かり易い配慮が見受けられました。また、聴講者は、局職員はもとより民間事業者、自治体、研究機関などからも切れ目なく、多数の方々が発表に聴き入りしました。

審査の結果、四国森林管理局長賞として六課題（最優秀賞一課題、優秀賞三課

題、奨励賞二課題）が選出され、各受賞者に表彰状と記念品が授与されました。

また、日本森林技術協会理事長賞、日本森林林業振興会会長賞としてそれぞれ一課題選出され、表彰状が授与されました。

最優秀賞に輝いた森林技術・支援センターの発表は、

シカ捕獲に用いる「囲いな」について、軽量化・低コスト化に向けて、また、

シカが誘引の餌に対する反応状況や「わな」に入る動画を挿入するなど、日頃の取組と合わせ高く評価されました。

なお、今回の発表課題と審査結果は最終頁のとおりです。

四国森林管理局長賞

最優秀賞

森林技術・支援センター
業務係長 芹口竜一氏



日本森林技術協会理事長賞

高知中部森林管理署

別府森林事務所

森林官 小松大高氏



四国森林管理局長賞

優秀賞

愛媛森林管理署

森林整備官 水田英司氏

係員 武市泰典氏



四国森林管理局長賞
優秀賞

独立行政法人

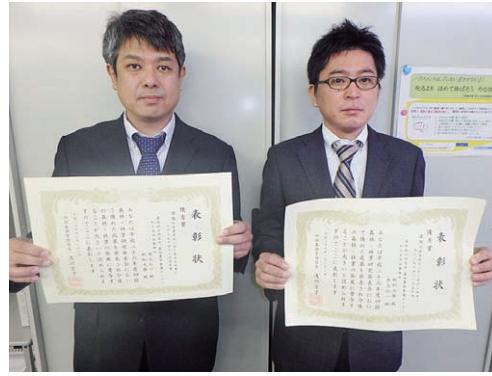
森林総合研究所

森林農地整備センター

松山水源林事務所

係長 則松大雄氏

主幹 井上弘一氏



四国森林管理局長賞

優秀賞

NPO法人

三嶺の自然を守る会

理事長 暮石 洋氏



会員 内田忠宏氏



徳島森林管理署

森林技術指導官

國見公一氏



四国森林管理局長賞
奨励賞

高知県立高知工業

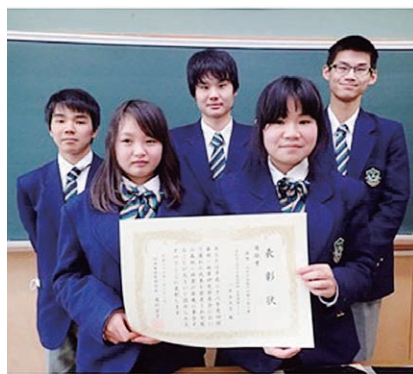
高等学校(建築科三年生)



四国森林管理局長賞

奨励賞

高知県立四万十高等学校
(自然環境コース一年生)



出張研修(チェーンソー)

「研修の開催について」

〈総務課〉

一月二六日～二八日の三日間、伐木造材に関する基礎的な知識及び技術、健康障害防止や危険作業の回避に必要の技術力を向上させることを目的に出張研修(チェーンソー)を実施しました。

受講者は、各署等において、請負事業の監督を実施することとなる森林整備官や首席森林官等二〇名です。

この研修は、群馬県にある森林技術総合研修所林業機械化センターの職員が当



チェーンソー分解中

局に出向いて行うもので、今年度初めて実施しました。

中には、作業に慣れていて素早く分解し組み立てる班も見られました。

初日は、チェーンソーの構造とメンテナンスについての学習です。二人一組となつて、チェーンソーの分解組立を行いながら、日常

の点検（清掃）、構成部品のかれて丸太の鋸断を行い明を受けました。研修生の

まず、四班五名ずつに分かれて丸太の鋸断を行いました。はじめは、チェーン

ソーを使うのを躊躇した感じでしたが、次第に慣れ、スムーズに行うことができました。



丸太の鋸断の様子

次は、かかり木の処理班と立木の伐倒及び枝払い、玉切り班に分かれて実習を行いました

恐るべし防護衣「ソーチェーンに白い繊維状のものが絡まっているところ」



た。特に、かかり木の処理については、災害が多発していることから、チルホールと滑車を使用し、入念に検討しました。

最後に、保護衣と作業着の鋸断を行いました。作業衣は、刃先（ソーチェーン）が触れたとたんに切れまし

たが、保護衣は、刃先が触れたとたん、保護衣の中にある「白い繊維状のもの」がスプロケット（駆動部）に絡まって停止し、保護衣の凄さを実感しました。

最終日は、講義の後、講師が目立てをしたチェーンソーを研修生に使用させ、研修生自身が目立てしたものとの切れ味の比較をしました。研修生の感想は、「講師が目立てしたチェーン

ソーは、力もいらす吸い込むように切れ、振動も感じられない。自分たちが目立てしたものとは全然違っていた。目立ては、大変重要だと感じた」とのことでした。

最後に、林業機械化セン

ター所長による「各所属署等で請負事業体の指導等を行い災害等の未然防止に役立てて下さい。」との閉講の挨拶で研修は終了しました。

研修生からは、今後も出前研修を実施して欲しいなど多くの声が聞かれました。



チェーンソーの目立て指導中

『林野庁長官賞最優秀賞、林業機械化協会 会長賞』受賞

～国有林野事業業務研究発表会～

〈技術普及課〉

平成二六年度 国有林野事業業務研究発表会が二月四日、林野庁において開催されました。

今回の発表会には、四国



林野庁長官賞最優秀賞の伝達後
(下段中央が受賞者福田薫氏)

森林管理局から三部門に各一課題ずつ参加しました。

○森林技術部門では、

「H型架線集材システム」

急傾斜林地における効率的

な集材システム」を嶺北

森林管理署 主任森林整備

官森下寿広氏、(株)とさ

れいほく 業務課長石垣久

志氏が発表し、林業機械化

協会会長賞を受賞しまし

た。

○森林ふれあい部門では、

「剣山南側の地域活性化へ

の取組と今後の課題」を香

林業機械化協会会長賞受賞
された(左側)森下寿広氏
(右側)石垣久志氏



川森林管理事務所 企画官

柏木喜代幸氏(元徳島森林

管理署)、南つるぎ地域活

性化協議会 会長平井滋氏

が発表しました。

○森林保全部門では、

「大正時代の治山事業調査」

を愛媛森林管理署津島森林

事務所森林官福田薫氏が発

表し、林野庁長官賞最優秀

賞を受賞しました。

なお、林野庁長官賞最優秀
賞を受賞した、福田薫

後、各署等へ配布する予定
です。

氏については、二月九日に
局長室で伝達式を行いました。

今後とも森林・林業に対
する多様なニーズに応えて
いくため、各署等において

今回の研究発表会の内容
等については、林野庁に
おいて発表集が作成された

は技術開発等の取組を一層
推進されるよう期待してい
ます。

校庭のアカマツを後世に

〈技術普及課〉



昨年末、高知市立第六小

朽進行度合いに加えて、児

学校から、校庭にある幹の

童や地域の方々が日頃から

腐朽が進んだアカマツ(樹

大切に見守っていることな

齢およそ百年超)の保護に

どのお話があり、何とか後

についての相談がありまし

世に引き継ぎたいとの思い

た。校長先生からは、アカ

を伺いました。

マツ保存の歴史や近年の腐

そこで、日頃より技術開